

## IV. 次期の見通し

連結業績の売上高は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響による増加は見込まれますが、販売電力量の減少に加え、燃料価格の低下による燃料費調整額の減少などにより、前期に比べ110億円程度減少の7,130億円程度となる見通しであります。

一方、損益につきましては、今後の供給力の状況を見極めていく必要があります、燃料費などの費用を合理的に算定することができないため、未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、電力供給につきましては、供給設備の適切な運用に全力で取り組み、安定供給確保に向け万全を期してまいります。

次期の中間・期末配当金につきましては、業績を見通すことができないことから、普通株式および優先株式ともに未定とさせていただきます。

### ○ 連結業績見通し

29年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	713,000	△11,000
(対前期増減率)	(△3.8%程度)	
販売電力量	275億kWh程度	△11億kWh程度

### ○ 単独業績見通し

29年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期
		対前期増減
売上高	685,000	△11,000

※通期の為替レートは115円/\$程度、原油CIF価格は40\$/b1程度として想定しております。